

開始事件番号 \_\_\_\_\_ 年(家)第 \_\_\_\_\_ 号

住所 \_\_\_\_\_

(現に居住する住居、施設等の住所を記載する。)

☐被保佐人 ☐被補助人 \_\_\_\_\_

## 報 告 書 (追加預入)

\_\_\_\_\_ 家庭裁判所 ( ☐ 支部 ☐ 出張所 ) 御中  
\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
☐保佐人 ☐補助人 \_\_\_\_\_ 印

下記のとおり、後見制度支援預(貯)金契約につき追加預入が必要であると考えますので、報告します。

### 記

- 1 預(貯)金契約 (口座名義人) \_\_\_\_\_  
(金融機関名) \_\_\_\_\_ (支店名) \_\_\_\_\_  
(口座種別) \_\_\_\_\_ (口座番号) \_\_\_\_\_
- 2 追加預入額 金 \_\_\_\_\_ 円
- 3 追加預入申出日 指示の日から3週間以内の日

(※初日不算入、最終日が休日の場合は翌営業日)

(添付資料)

追加預入の理由の相当性を疎明する資料、被保佐人・被補助人名義の預貯金通帳の写し(※預貯金通帳は、前回報告以降、直近までの取引が記帳されていること)又は預貯金残高及び取引履歴が確認できる書類等

監督事件番号 \_\_\_\_\_ 年(家)第 \_\_\_\_\_ 号(開始事件 \_\_\_\_\_ 年(家)第 \_\_\_\_\_ 号)

## 指 示 書 (追加預入)

職権により、上記報告書のとおり、追加預入の申出をすることを指示する。

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
家庭裁判所 ☐ 支部 ☐ 出張所  
裁判官

家庭裁判所連絡先: \_\_\_\_\_